

ゲムシタビン+シスプラチン療法を受けられる

当日2日間

説明医師

様へ

看護師

月日	月 日	月 日
経過	入院日	退院日
目標	○心身ともに安定した状態でゲムシタビン+シスプラチン療法を受けることができる ○治療に対する不安を表出できる ○副作用が最小限で治療を終了することができる ○感染予防の自己対策が理解でき実施できる	
検査	採血、レントゲン、体調確認を行ない、治療を決定します  身長体重を測ります	
食事	制限はありません	
	朝食は 自宅で	  
処置・観察	 体温・脈拍・血圧を測ります 体重測定します リストバンドを装着します 点滴前に留置針を挿入します 点滴が終了後留置針を抜きます	リストバンドを外します 
	注射・内服  持参薬のある方は看護師に 申し出てください 制吐剤を内服します  以下の点滴を行います（約4時間） 1) 制吐剤 2) 点滴を1本 3) シスプラチン 4) ゲムシタビン 5) 点滴1本	 制吐剤を内服します
行動	 自宅で入浴をしてください	
	 制限はありません できるだけ飲水してください（目安 1000ml）	
説明	 医師より説明 (外来または入院時) ・化学療法について	
	 看護師より説明 ・入院生活について ・点滴投与中の注意点について	
	 薬剤師より説明 ・お薬について ・持参薬確認	
		 医師より説明 ・退院後の療養計画 ・療養上の注意点について  看護師より説明 ・日常生活の注意点、退院後の生活について ・次回外来日/次回入院申込の手続きについて

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

08-Z51-36

2021.8.10 版

京都第一赤十字病院